

高校生が選挙事務体験

期日前投票所で案内

てもらおうと、市選管が4月の市長選に続いて企画。土日曜を除き28日まで、希望があった7校の生徒を受け入れる。
(安部晃将)

「18歳選挙権」が導入された参院選（7月10日投票）の期日前投票所となっている倉敷市内の会場で24日、地元高校生を対象とした選挙事務体験が始まった。若者に選挙への関心を高め

倉敷市選管 若者の関心向上へ



有権者を案内し、宣誓書に記入する必要事項を説明する尾上さん（右）と松本さん（中央）＝倉敷市役所

初日は市役所と水島、玉島両支所の3会場で天城、古城池、玉島商の生徒が体験した。市役所では、天城高

選択2016 参院選

から尾上仁朗さん（16）と松本佳奈さん（16）が授業

いずれも2年Ⅱが授業後の午後4時から1時間、市選管職員とともに投票所の入り口で21日現在1万148

券をお持ちですか」などと声を掛け、裏面の宣誓書に記入する氏名や生年月日などの必要事項について説明した。

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。